

房日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

8月4日 土曜日

平成19年(2007年) 旧暦6月22日(先負)

日刊

第16424号

(昭和27年3月27日 第3種郵便物認可)【月曜休刊】

天気	南西の風やや強く 海上では南西の風強く 曇り
潮位	満潮 07時41分/20時03分 干潮 01時45分/13時43分 小潮 (布良)



さかなクンによる勉強会＝鴨川市民会館で

鴨川

アジアの友と環境学ぶ

9か国の90人がNPOのイベントで

子どもたちの環境教育な「地球子どもクラブ」のイベントに取り組みNPO法人イベントが、鴨川市の前原海岸

岸などで行われた。アジア9か国の小中学生約90人が参加。タレントで東京海洋大学客員准教授のさかなクンを講師に、海岸清掃に汗を流し、勉強会で海洋環境について考えた。

同クラブは、91年の環境庁創立20周年記念イベントからスタート。「世界子どもたちが環境問題を自発的に考え、手を携えて地球環境を守るために立ち上がることを」を支援する目的で、国際交流を交えた環境教育活動に取り組んでいる。

日本をはじめ、アジアの小中学生を対象とした「ほくたちの地球を守ろう」作文コンクールを設立時から、同ボスターコンクールの97年から継続。94年から

は高田宮賞を受け、コンクールの授賞式に合わせ、入賞者による「アジア子ども会議」も毎年開催している。

鴨川市を会場にした今回

のイベントは、都内で開いた作文・ボスターコンクールの授賞式に関連した学習会。地元環境団体「ウミガメ倶楽部」(椎野瑞穂会長)が共催し、海洋環境をテーマに実施した。

同クラブから、コンクールに入賞した日本、中国、韓国、タイ、シンガポール、カンボジア、ベトナム、マレーシア、モンゴルの9か国の32人、地元の鴨川、東条、江見の3小学校からは54人の児童が参加。

まず、1時間にわたり、日本の渚百選にもなっている前原海岸で、ごみ拾いに汗を流した。作業を終えると、さかなクンが地元で獲れた魚を示しながら「たくさん種類の魚が獲れるよ、いつまでも海岸をきれいにしよう」などと呼びかけた。

その後、会場を市民会館に移し、椎野会長があいさつ。東条小の田中美里さんが、同クラブから参加したタイのラック・パッドさんに記念品の扇子をプレゼントした。

最後に勉強会で、さかなクンが「学校ではおしえてくれない海のこと、魚のこと、そして環境のこと」と題して講話。海岸で拾い集めたごみを、地球に優しいものと悪いものに分別しながら、環境を悪化させるごみを出さないように説明し、魚のイラストを描いて問題を出し、正解者にプレゼントした。

イベントに参加した地元鴨川の子どもたちは「外国の子と一緒に、ごみ拾いや勉強ができて良い経験になりました」などと話していた。

海洋環境保全学習 『地球子どもクラブ in Kamogawa』は、内閣府認定NPO法人生活情報推進ネットワーク共催で行われました。